



旭山動物園では、安心してヒグマを観察できます



ヒトの生活圏を避けられないヒグマ

連日の暑さで、園内の芝生も枯れ始めた今日この頃です。この暑さはいつまで続くのでしょうか？ キリンなどに与えている青草も、2番刈りの牧草が全く育たず、夏なのに青草を与えることができません。とにかく雨が待ち遠しい日々が続いています。

それにしても、この暑さと湿度と紫外線の中でも感染力が衰えないように思える、新型コロナウイルススには驚かされます。この先どうなるのか…。

さらに、ヒグマの出没！旭川は川のまち。川の上流は森につながっています。近年、ヒグマがヒトやヒトの生活圏を避けない傾向が顕著になってきていますが、まちなかの河川敷にまで居着く個体が現れるとは驚きです。そして時間の経過とともに、ヒトが作った舗装路やまちな明かりにも少しずつ慣れてきます。もしも、民家

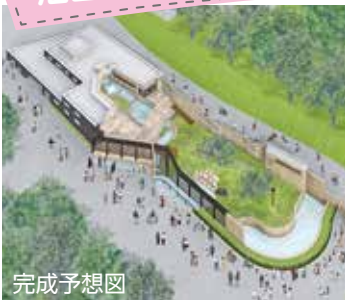
の家庭菜園が荒らされたらと、びくびくしています。

とにかく河川敷から出ると、そこは市街地です。人命への危険回避を最優先に様々な対策を講じていますが、ヒグマの行動を予想することは難しく、対応は困難を極めていくようです。ヒグマを刺激する行動は危険を伴うため、追い払うこともできません。このまま山に帰ってくれたらと思われるかもしれませんが、ヒグマにとつては快適に過ごせた場所として記憶されてしまいます。

来年春オープンを目指し工事が続いているえぞひぐま館（仮称）では、ヒグマとの共存を探ることもテーマの一つに据えています。話は変わりますが、ペンギンの繁殖、アビシニアコロブス・エゾユキウサギの出産など、動物たちの営みは順調です。せめて穏やかな気候になればと祈りつつ筆を置きます。



旭山ピックアップ



完成予想図

えぞひぐま館（仮称）の工事をしています

来年春の完成に向けて、両生類・は虫類舎に隣接したエリアで工事をしています。工事期間中は、園路の一部通行止めや工事車両の通行などご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いします。

旭山動物園をもっと楽しむ

おじいちゃん・おばあちゃんと、夜の動物園に行こう

日 9/19(日) 17:30~19:30
対 祖父母と孫、または親子3世代以上そろって（詳細は同園HP）

園内イベント

詳細は決まり次第、同園HPに掲載



【詳細】旭山動物園
（東旭川町倉沼 番36・1104）

開園日・時間

●10/15(金)まで 9:30~17:15 ●10/16(土)~11/3(水)
9:30~16:30（いずれも入園は16:00まで）
※最新情報は同園HPなどで確認を。

